

IMJ NEWS LETTER

渥美理事長が政府与党役員と面談

去る、11月19日(金)、(社)日本統合医療学会 渥美和彦理事長、仁田新一副理事長が国会議事堂内の衆議院本館第15控室に山根隆治民主党企業・団体対策委員長、並びに枝野幸男幹事長代理を訪ね、統合医療の普及・発展に対して、民主党としての更

なる支援を要請し、前向きに検討するとの回答を戴いた。

後日、厚生労働省大臣官房から連絡が入り、12月17日(金)、渥美和彦理事長が細川律夫厚生労働大臣と面談することとなった。

渥美理事長が細川律夫厚生労働大臣と面談



去る、12月17日(金)13:30に(社)日本統合医療学会 渥美和彦理事長、仁田新一副理事長、(社)全日本鍼灸学会会長 後藤修司氏、(社)日本ヨーガ療法学会理事 瀬尾慈光氏が日本統合医療学会連合を代表して、厚生労働大臣室に細川律夫大臣を訪ね、統合医療の現況を報告すると共に統合医療の普及・啓発に向けた更なる支援を要請した。

当日は限られた時間ながら、渥美理事長と細川大臣との間で積極的な意見交換がなされた。殊に、欧米およびアジア諸国が統合医療を国家戦略として推進している状況を鑑み、厚生労働省が統合医療プロジェクトチームを設けたことに対する評価と感謝の意を改めて大臣に伝えた。

次いで、国立統合医療研究センター(仮称)の設立、及び統合医療研究の必要性を述べ、併せて、生物資源としての薬草、鍼灸のISO基準問題など、国家戦略として対処すべき喫緊の課題とその重要性を訴え

た。

細川大臣からは、「今後は現在進行中の特別研究(平成22年度厚労科研費)の結果を踏まえて、きちんと対応する。」との返答を得るに至り、これに対して、渥美理事長は謝意を述べた。

後日、細川大臣より、「平成23年度は統合医療プロジェクトチームを発展的に改組し、統合医療検討会を発足させるべく準備を始める。」との連絡が渥美理事長にもたらされた。こうして、日本における統合医療の新しい歴史の始まりを確信するに至った。



発行元

一般社団法人 日本統合医療学会 南青山事務局
〒107-0062 東京都港区南青山5-4-27
ジブラルタ生命南青山ビル902
Email: imj@imj.or.jp
FAX: 03-3498-1460